

さわやかトイレ整備

なぜこの事業を行っているのですか？

区内にある公衆トイレは、老朽化やにおい、明るさなどへの不満、マナーの低下（落書き・器物損壊など）、段差があるなど様々な問題があり、女性や高齢者があまり利用しない傾向があります。

そのため、区では平成17年度に「さわやかトイレ整備方針」を作り、マイナスイメージの5K（きたない、くさい、くらい、こわい、こわれている）から、プラスイメージの5K（きれい、かがやき、かんどう、かいてき、きもちよい）を感じることができるよう、誰もが快適に利用できるトイレを目指して整備を進めています。

どのようなことを行っていますか？

公衆トイレの改築・改修工事を毎年数ヵ所ずつ行っています。主な工事内容としては以下のものがあります。

設備の維持保全

- ・内外壁のタイル取替え、全面的な再塗装、光触媒塗装（☞解説）、ペーパーホルダーの設置

給排水設備

- ・洋風便器の設置
- ・手洗器の取替え
- ・センサー式小便器の設置

電気設備

- ・換気扇の設置
- ・照明器具取替え

バリアフリー化

- ・多機能トイレ（☞解説）の設置
- ・段差の解消
- ・手すりの設置
- ・ベビーチェア・ベビーシートの設置



多機能トイレ

事業の進み具合はどうか？

これまで、以下の公衆トイレについて改修・改築工事を行ってきました。

- 平成16年度 5カ所（西郷銅像下公衆便所、仲見世1～4号公衆便所）
- 平成17年度 1カ所（木馬館前公衆便所）
- 平成18年度 1カ所（寛永寺前公衆便所）
- 平成19年度 3カ所（田原町交番裏公衆便所、厩橋際公衆便所、千束一丁目公衆便所）
- 平成20年度 2カ所（池之端弁天前公衆便所、蔵前四丁目公衆便所）

今後はどのように取り組んでいくのですか？

平成21年度は、三ノ輪町公衆便所の改修工事を予定しています。

浅草や上野を抱え、国際観光都市として発展してきた台東区には、毎日多くの方々を訪れます。公衆トイレを快適に利用していただくため、今後も、整備していないトイレについて順次改修を進めていきます。



この事業に関するお問合せは

都市づくり部（土木担当）土木課

03 - 5246 - 1316

【解説】

光触媒

太陽や蛍光灯の光を当てると、壁の表面の細菌などを除去する効果がある物質で、トイレ内の悪臭を抑える効果があります。

多機能トイレ

内部が広く、手すりはもちろんベビーシートなどもあり、多目的トイレとも呼ばれています。体の不自由な方ばかりでなく、高齢者、乳幼児連れの保護者などにとっても利用しやすいトイレとなっています。区内公衆トイレでは西郷銅像下、木馬館前、寛永寺前、千束一丁目の4カ所に設置しています。